

ご利用ください!!

『中小企業経営診断システム』による
無料財務診断・経営相談

大阪信用保証協会

財務診断・経営相談のご案内

大阪信用保証協会では、『中小企業経営診断システム(McSS)』を使った**財務の現状診断**と、**将来シミュレーションの結果**を、**無料**で中小企業の皆様にご提供しています。

中小企業診断士(当協会職員)による**ご説明**、**経営課題についてのご相談(事前予約制)**をお受けしていますので、**お気軽にお申込み下さい**。

中小企業経営診断システム (McSS) とは

McSS: Management consulting Support System

日本最大の中小企業データベースである一般社団法人CRD協会が作成した財務診断ツールです。

CRDに蓄積された全国データとの比較による貴社の『位置付け』と、財務面の強み・弱みが把握できます。

ご希望により、今後の経営計画を反映した将来シミュレーションもご提供できます。

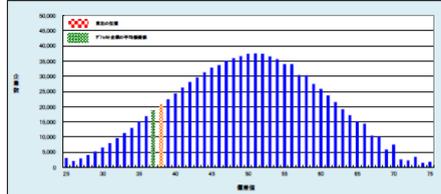
McSSは、一般社団法人CRD協会による登録商標です。

経営診断報告書・財務バランスチェック

McSS 経営診断報告書

更新日: 2015/04/24
シート名: CRDレポート0307/0308/04
貴社名: CRDI工業株式会社

【CRDモデルによる経営診断結果】
ここでは、貴社の決算書とCRDモデルで計算していた結果、全国の中小企業における貴社の借入力の相対的な位置づけをCRDランク(A~E)及び得意度で表しています。得意度は業種ごとと借入力が異なることを示しています。また得意度は業種内・都道府県内・売上規模区分での貴社の順位を示しています。



決算期	CRDランク (A~E)	得意度	アパレル企業平均得意度	業種全体の得意度	山形県	同売上規模企業群での順位
2014/03期 (12ヶ月)	D	38	37	7,251社 (0.0211%)	4,119社 (0.0081%)	194位 (220,339社中)
2013/03期 (12ヶ月)	C	45	37	6,020社 (0.0178%)	3,098社 (0.0061%)	174位 (174,642社中)
2012/03期 (12ヶ月)	C	46	37	6,799社 (0.0211%)	2,973社 (0.0059%)	187位 (120,669社中)

【CRDモデルでみた貴社の財務状況】
ここでは、貴社の当期の決算書について、中小企業の財務状況を表す代表的な10カテゴリー別に、CRDモデルでみた財務面の強み・弱みを「○」●表示し、改善の余地があるカテゴリーには「△」のマークを付しています。ウエイト(重み)は、文字「◎」が財務面の強みであることを示しており、得意度(業種)については△のマークを付して優先順位を低くすることを示しています。

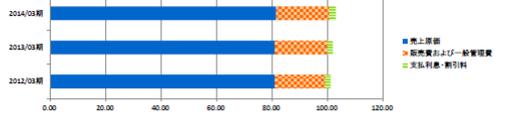
評価のカテゴリ	代表的な財務指標名	財務面の強み(緑) (高得点・高付加価値)	財務面の弱み(赤) (低得点・低付加価値)
資本の安定性	自己資本比率、純資産率 など	○	—
調達と運用の適合性	固定長期適合率、固定比率 など	○	—
成長性	前年増収率、純資産増減率 など	○	—
売上高利益	売上高総利益率、売上高純利益率 など	●	3.5%
買収の健全性	減価償却率、売上高減価償却率 など	●	9.4%
短期支払能力	現預金比率、流動比率 など	●	9.8%
回転率・回転期間	営業回転率、売上債権回転日数 など	●	10.8%
総合収益性	総資本経常利益率、総資本営業利益率 など	●	15.6%
債務償還能力	キャッシュフロー有利子負債比率、インテラスカバレッジ など	●	18.4%
借入状況	借入金月間倍率、借入金依存率 など	●	32.5%
合計			100.0%

注: 財務面の強み・弱み「○」: 業種のカテゴリは、業種群内(上位10%)、CRDモデルの算出結果に基づいて評価しています。

McSS 経営診断報告書

更新日: 2015/04/24
シート名: CRDレポート0307/0308/04
貴社名: CRDI工業株式会社

【経営分析】
本分析は、各決算期毎に、売上高を100とした場合に、それぞれの経営指標項目(売上高、販売費および一般管理費、支払利息・割引料)が売上高に対してどの程度となっているか、構成比を算出し、3期を並列比較したものです。



決算期	売上高	販売費および一般管理費	支払利息・割引料	合計
2014/03期 (12ヶ月)	81.59	19.04	2.36	102.99
2013/03期 (12ヶ月)	80.96	19.00	1.98	101.94
2012/03期 (12ヶ月)	80.96	18.23	1.95	101.14
経営用預備金算定額 (中央値)	75.34	23.40	0.75	99.49

【キャッシュフロー分析】
本分析は、貴社の決算書をもとに、関係によるキャッシュフローを計算し、グラフ表示したものです。

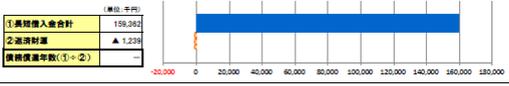


【所要運転資金・償還償還年数分析】
本分析は、貴社の決算書をもとに、「所要運転資金」「償還償還年数」を算出し、貴社の借入状況に問題がないかを点検したものです。

(1) 所要運転資金分析
所要運転資金(受取手形+売掛金+総当り資産)÷(支払手形+買掛金)
※ 短期借入金がないと仮定して算出されています。

項目	金額(千円)
①所要運転資金	40,110
②短期借入金	10,000
③短期(①-②)	30,110

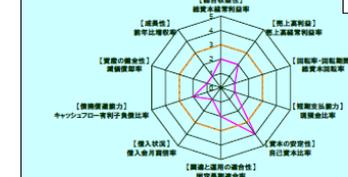
(2) 償還償還年数分析
償還償還年数=長期借入金合計÷返済財源(税引後当期利益+減価償却累計額)
※ 毎年の返済財源で借入金返済するのに何年かかるかを表しています。



McSS 経営診断報告書

更新日: 2015/04/24
シート名: CRDレポート0307/0308/04
貴社名: CRDI工業株式会社

【財務バランスチェック】
ここでは、中小企業の財務状況を表す代表的な10指標について、全国の同業種企業群の標準的な値を算出(業界中央値)と比較するとともに、全国の同業種企業群を6等分した「業群別ランク(S~1)」で貴社の財務状況を多面的にチェックしています。



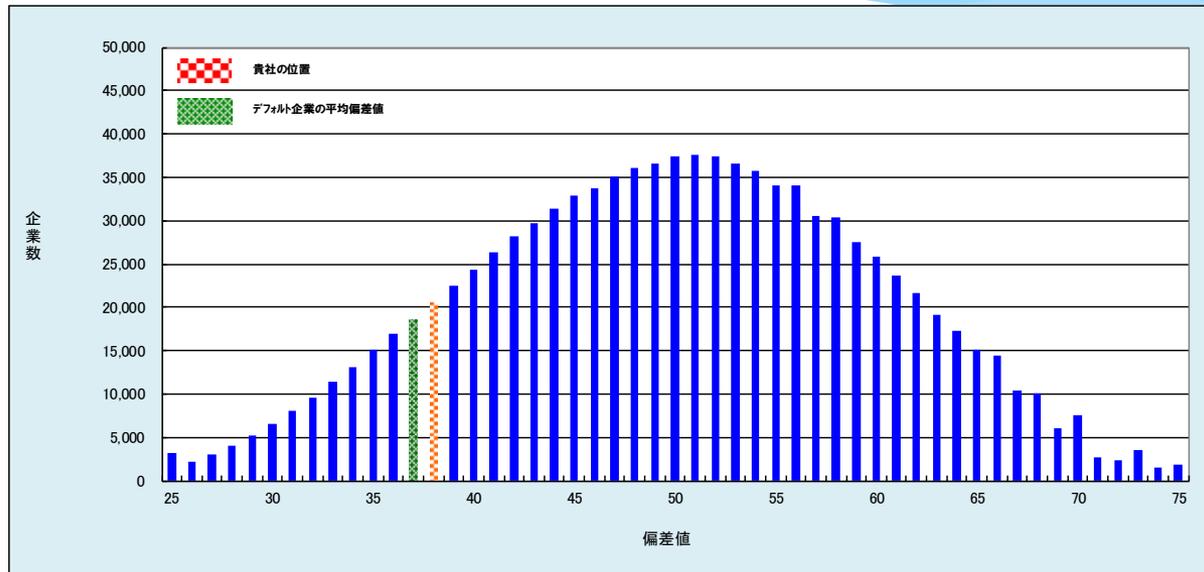
評価のカテゴリ	評価指標名	算式	2014/03期	業界中央値	業群別ランク (S~1)	評価コメント (業群別ランクが2又は1の場合)
①総合収益性	総資本経常利益率	経常利益÷総資本×100	-0.8	1.7	12	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、売上高の増減や、固定資産の増減に大きく影響を受けている。
②売上高利益	売上高総利益率	経常利益÷売上高×100	-1.6	1.3	12	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、売上高の増減や、固定資産の増減に大きく影響を受けている。
③回転率・回転期間	営業回転率	売上高÷総資本×100	0.5	1.3	11	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、売上高の増減や、固定資産の増減に大きく影響を受けている。
④短期支払能力	現預金比率	現金+預金÷売上高×100	2.4	11.3	11	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、売上高の増減や、固定資産の増減に大きく影響を受けている。
⑤資本の安定性	自己資本比率	自己資本合計÷総資本×100	25.9	12.2	4	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも高く、資本の安定性が高い。
⑥調達と運用の適合性	固定長期適合率	固定資産合計÷自己資本×100	87.3	65.4	12	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも高く、固定資産の増減や、固定負債の増減に大きく影響を受けている。
⑦借入状況	借入金月間倍率	借入金合計÷(売上高+借入金)	15.4	5.6	11	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも高く、借入金の増減や、借入金の返済に大きく影響を受けている。
⑧債務償還能力	キャッシュフロー有利子負債比率	有利子負債合計÷(営業活動によるキャッシュフロー+減価償却累計額)×100	-0.8	8.2	12	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、返済財源の不足や、借入金の増減に大きく影響を受けている。
⑨買収の健全性	減価償却率	減価償却累計額÷(総当り資産合計+売上高)×100	0.8	17.1	11	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、減価償却の不足や、減価償却の増減に大きく影響を受けている。
⑩成長性	前年増収率	(売上高(前年)-売上高(前年-1))÷売上高(前年-1)×100	-17.1	4.5	11	業群全体を使って平均した結果が、同業種会社よりも低く、売上高の増減や、売上高の減少に大きく影響を受けている。

注: 業群別ランクの1から6は、業群内(上位10%)の業群から「業群別標準値」を算出しています。

診断結果は、ヒストグラムやリーダーチャートなどの図表を使った、分かり易い帳票に纏められています。財務バランスチェックでは、個別の財務指標について、同業種における全国データ(中央値)と比較した結果が分かります。

CRDモデルによる総合評価結果

貴社の決算内容(3期分)について、全国データの中での評価ランクと、同業種内、同都道府県内、同売上規模内の順位が把握できます。



決算期	CRDランク (A~E)	貴社 偏差値	デフォルト企業 平均偏差値	輸送用機械器具製造業		同売上規模企業群での順位	
				企業群での順位	大阪府 企業群での順位	売上規模区分	順位
2014/03期 (12ヶ月)	D	38	37	7,251位 (8,071社中)	51,825位 (58,166社中)	1億円超 3億円以下	220,333位 (250,969社中)
2013/03期 (12ヶ月)	C	45	37	6,026位 (8,071社中)	41,127位 (58,166社中)	1億円超 3億円以下	177,614位 (250,969社中)
2012/03期 (12ヶ月)	C	46	37	5,725位 (8,071社中)	38,402位 (58,166社中)	1億円超 3億円以下	167,273位 (250,969社中)

CRDモデルでみた貴社の財務状況

中小企業の財務状況を表す代表的な10の評価カテゴリー毎に、財務面の強み・弱みを『○』・『●』表示します。

改善の余地がある『●』のカテゴリーについては、財務面の弱みを評価した各カテゴリーのウェイト(寄与率)を表示します。

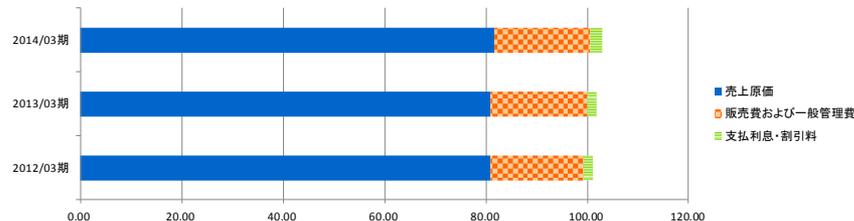
評価のカテゴリー	代表的な財務指標名	財務面の強み・弱み (良好な場合は「○」、 改善の余地がある場合は「●」)	財務面の弱みを評価した 各カテゴリーのウェイト (寄与率)
資本の安定性	自己資本比率、純資産倍率 など	○	—
調達と運用の適合性	固定長期適合率、固定比率 など	○	—
成長性	前年比増収率、総資本増減率 など	○	—
売上高利益	売上高経常利益率、売上高総利益率 など	●	3.5%
資産の健全性	減価償却率、売上高減価償却費率 など	●	9.4%
短期支払能力	現預金比率、流動比率 など	●	9.8%
回転率・回転期間	総資本回転率、売上債権回転日数 など	●	10.8%
総合収益性	総資本経常利益率、総資本営業利益率 など	●	15.6%
債務償還能力	キャッシュフロー有利子負債比率、インタレストカ パレッジレシオ など	●	18.4%
借入状況	借入金月商倍率、借入金依存度 など	●	32.5%
合計			100.0%

財務内容の改善に役立つ各種分析

『経常費用分析』、『キャッシュフロー分析』、『所要運転資金・債務償還年数分析』の診断結果を、貴社の財務内容の改善に役立てることができます。

【経常費用分析】

本分析は、各決算期毎に、売上高を100とした場合に、それぞれの経常費用項目(売上原価、販売費および一般管理費、支払利息・割引料)が売上高に対してどの程度となっているか、構成比を算出し、3期分を時系列比較したものです。



決算期	売上原価	販売費および一般管理費	支払利息・割引料	合計
2014/03期 (12ヶ月)	81.59	19.04	2.36	102.99
2013/03期 (12ヶ月)	80.96	19.00	1.98	101.94
2012/03期 (12ヶ月)	80.96	18.23	1.95	101.14
輸送用機械器具製造業 (中央値)	75.34	23.40	0.75	99.49

【所要運転資金・債務償還年数分析】

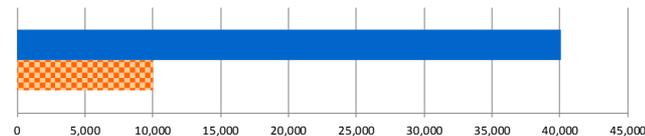
本分析は、貴社の決算書をもとに、「所要運転資金」「債務償還年数」を算出し、貴社の借入状況に問題がないかを点検したものです。

(1) 所要運転資金分析

所要運転資金 = (受取手形 + 売掛金 + 棚卸資産合計) - (支払手形 + 買掛金)

⇒ 短期借入金がこの金額内であれば適正です。

(単位: 千円)	
① 所要運転資金	40,110
② 短期借入金	10,000
差額(①-②)	30,110

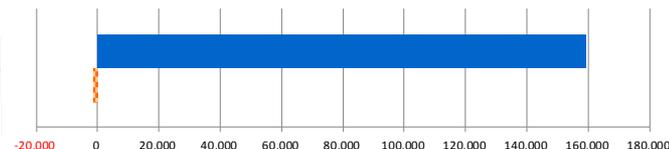


(2) 債務償還年数分析

債務償還年数 = 長短借入金合計(短期借入金 + 社債・長期借入金) ÷ 返済財源(税引後当期利益 + 減価償却実施額)

⇒ 毎年の返済財源で借入金を完済するのに何年かかるかを表します。

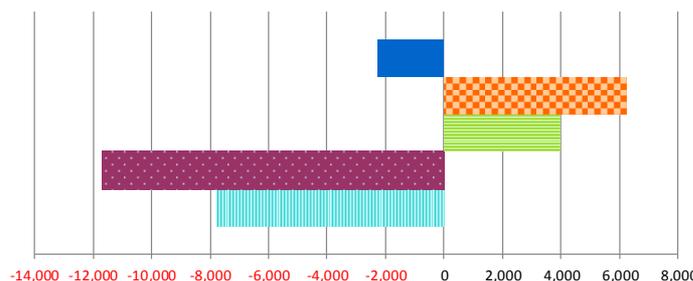
(単位: 千円)	
① 長短借入金合計	159,362
② 返済財源	▲ 1,239
債務償還年数(①÷②)	-



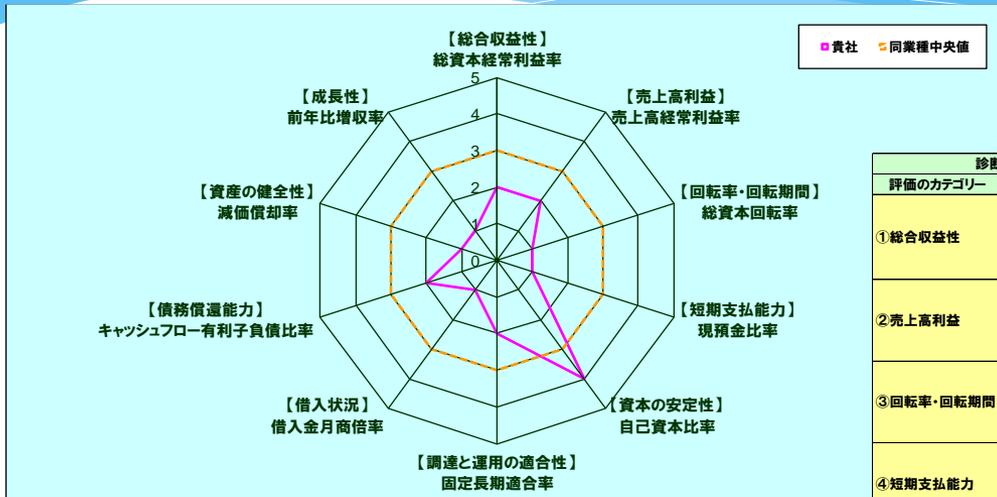
【キャッシュフロー分析】

本分析は、貴社の決算書をもとに、間接法によるキャッシュフローを計算し、グラフ表示したものです。

(単位: 千円)	
① 営業活動によるキャッシュフロー	▲ 2,284
② 投資活動によるキャッシュフロー	6,226
③ フリーキャッシュフロー-(①+②)	3,942
④ 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 11,689
⑤ キャッシュフロー-(③+④)	▲ 7,747



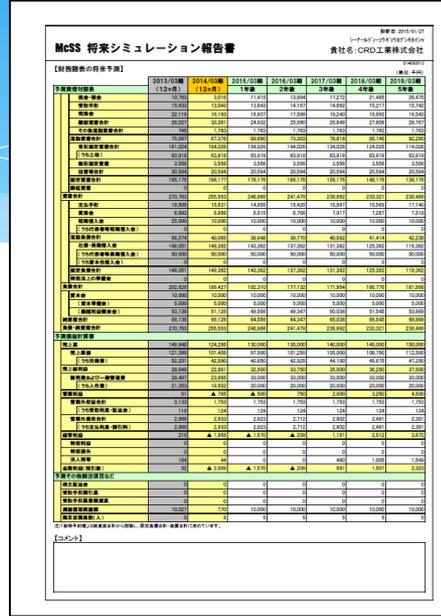
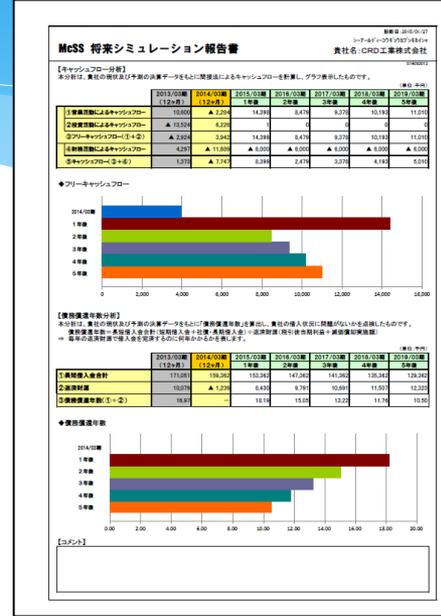
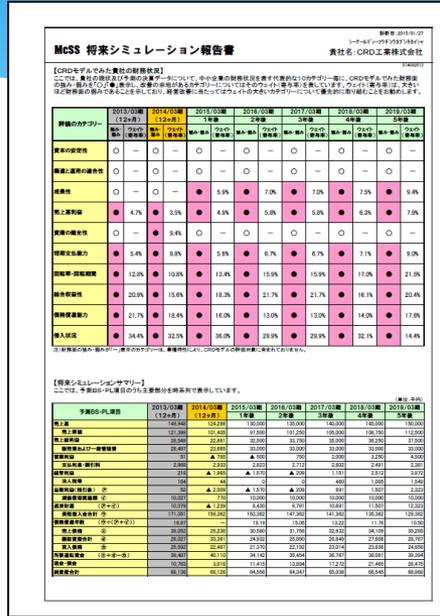
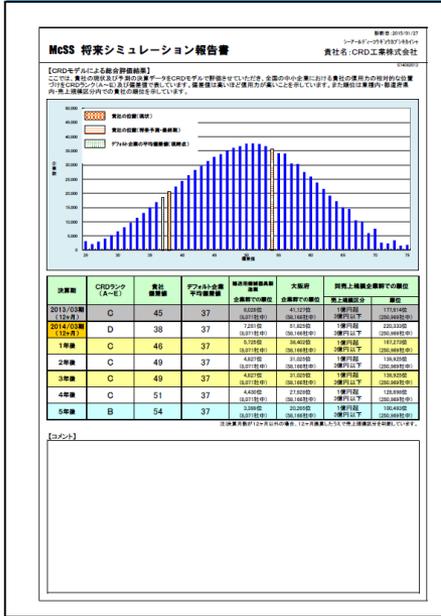
財務バランスチェックと 個別指標評価結果



診断結果		単位	計算式	2014/ 03期	同業種 中央値	業界財務 ランク (5~1)	評価コメント (業界財務ランクが2又は1の場合)
評価のカテゴリ	評価指標名						
①総合収益性	総資本経常利益率	%	経常利益÷総資本(総資産) ×100	-0.8	1.7	! 2	資産全体を使って生み出す経常利益が、同業他社比やや過少です。売上原価や販管費の見直し、遊休資産等収益に直接寄与しない資産の処分を検討してください。
②売上高利益	売上高経常利益率	%	経常利益÷売上高×100	-1.6	1.3	! 2	営業利益に、金融取引等本業以外の収支を加味した経常利益が、同業他社比やや過少です。販売価格引上げ、製造原価・販管費の削減に加え、借入金削減による支払利息の削減を検討してください。
③回転率・回転期間	総資本回転率	回	売上高÷総資本(総資産)	0.5	1.3	!! 1	総資本(総資産)を投下・活用して獲得された売上高が、同業他社比かなり過少です。売上増加策の検討や、遊休資産の処分など総資本(総資産)の削減を早急に検討してください。
④短期支払能力	現預金比率	%	現金・預金÷売上高×100	2.4	11.3	!! 1	売上規模に比べ保有している現預金残高が同業他社比かなり過少です。現金や流動性預金を確保することや運転資金の借入等資金繰り安定化を早急に検討してください。
⑤資本の安定性	自己資本比率	%	資本合計(※)÷総資本(総 資産)×100	25.9	12.2	4	
⑥調達と運用の適合性	固定長期適合率	%	固定資産合計÷(自己資本 額(※)+固定負債合計+ 特別法上の準備金)×100	87.3	65.4	! 2	自己資本と固定負債による調達に対し、投資している固定資産が同業他社比やや過多です。短期借入金の長期借入金への切替、遊休資産の処分など、調達と運用のバランス調整を検討してください。
⑦借入状況	借入金月高倍率	倍	(短期借入金+社債・長期 借入金)÷(売上高÷12)	15.4	5.6	!! 1	月高に比べ、借入金が同業他社比かなり過多です。借入金の削減を早急に検討してください。
⑧債務償還能力	キャッシュフロー有利子負債比率	%	(当期利益+減価償却実施 額)÷(短期借入金+社債・ 長期借入金+受取手形引 高)×100	-0.8	8.2	! 2	借入金に対し、返済財源であるキャッシュフロー(当期利益+減価償却実施額)が同業他社比やや過少です。収益力強化策や借入金削減策を検討してください。
⑨資産の健全性	減価償却率	%	減価償却実施額÷(有形固 定資産合計-土地+減価 償却実施額)×100	0.8	17.1	!! 1	土地を除く有形固定資産に対し、減価償却実施額が同業他社比かなり過少です。適正な減価償却が実施されているか、実施できない理由は何かを早急に検討してください。
⑩成長性	前年比増収率	%	(売上高(当期)÷売上高 (前期)-1)×100	-17.1	4.5	!! 1	売上高の前年伸び率が、同業他社比かなり低めです。販売価格の引上げ、より単価の高い商品へのシフト、販路の開拓等売上増加策を早急に検討してください。

代表的な10指標について、
『同業種中央値』と比較する
と共に、『業界財務ランク
(5~1)』で貴社の財務状況
を多面的にチェックします。

将来シミュレーション報告書



貴社の経営計画について、『CRDモデルによる総合評価結果』、『CRDモデルでみた貴社の財務状況』、『将来シミュレーションサマリー』、『キャッシュフロー分析』、『債務償還年数分析』、『財務諸表の将来予測』における診断結果を時系列で表示します。この結果は、分かり易く、A4用紙4枚に取り纏めています。

